

LCGT Collaboration Meeting 議事録

(2009年9月7日開催)

書記：森脇成典

監修：黒田和明

参加者：

中谷，梶田，黒田，大橋，三代木，我妻，齋藤(芳)，藤本，高橋(竜)，三尾，森脇，大前，森，山本(宇宙線研柏)，川村，辰巳，佐藤(国立天文台)，麻生(東大理)，神田，安東(大阪市大)，田越(阪大)，新井，高橋(弘)，宮川(Skype)。

決定事項：

* LCGT 概算要求を継続して行う。

アクションアイテム：

- * LCGT 大方針議論のため，LXGT 申請書を必要な人に送る。
- * サブワーキング報告書の提出日を再考する(黒田)。

議事：

- プログラム基金応募(梶田)

我々は採択された30課題に入らなかった。概算要求も、財務省には出ていない。次の概算要求提出は学内的には12月なので、頑張りたい。

- レビュー委員会へのレポート(川村)

明日ドキュメントを麻生氏・安東氏からもらう予定。Stan氏に提出する。9月末に評価結果が返ってくる予定。

- 真空(齋藤(芳))

掘削見積りの件、24-26ヵ月で光学機器等をインストール可能な状態にもっていけそう。

- 防振(高橋(竜))

先週第4回の作業部会を開いた。防振系のモデリングの修正等。ヨーと剛体モデルを追加する予定。これらの結果からジオメトリを決める予定。SPIの

議論が一段落ついたことより、防振に注力する意味をこめて、10月1日に非TV接続の会議を開く予定。

山本：「Michelson 共振器のモード安定化のためにサスペンションを追加する話は？」

高橋：「11月頃までに制御作業部会から方針が示される予定。」

- LCGT 計画全体の議論

三尾：「LCGT の全体の方針転換はある？」

黒田：「大きく変える予定はない」

大橋：「変えるべき. first detection を目標に据えることについてはそのまま、LXGT の検討内容を盛り込む。」

中谷：「JGWC の日程を設定してそちらで LCGT の議論をするのか、LCGT のための議論を持つ会をひらくのか。」

三尾：「全体の流れを、概算要求のスケジュールの変更を反映した形で、実際の検討作業をしている人に対して説明して欲しい」

山本：「たとえば RSE の broad/narrow を変えることや、低周波防振に特化する変更が、プロポーザルを出した後で、変えることが許されるものなのかどうか知りたい」

黒田：「お金が足りないので増額して欲しいというのは難しいが、作るものの構成については、申請書に詳細な記載はないので、変える余地があると考えている」

梶田：「昔はたしかにそうだったが、だんだん変更が厳しくなる状況になっているのではないか」

神田：「23年度開始になるので、スケジュールの状況がいままでと同じでいけるとは考えにくい。」

黒田：「工期の短期については LXGT の検討内容が使える」

大橋：「first detection を標榜するのは継続すべき. 最初は低温を入れないで干渉計を動かすという LXGT のやりかたを盛り込む」

齋藤：「36ヵ月後にはコミッショニングが可能になる方法が見出せたので、これを概算要求の計画にも盛り込んでいいと思う」

三尾：「来年度の概算要求が財務省に出なかった理由を踏まえた上で方針をたてたい」

中谷：「LXGT の申請書を回覧し、一週間後に議論の会議を持つてはどうか」

三代木：「LXGT の非採択の理由は発表される？」(←全課題になされるらしい)

梶田：「大型計画の審議会の立ち上がりがまだ途中なので、予算規模が合わなかったから財務省にでなかったという面がある」

神田：「方針として例えば (1)first detection 優先, (2)first detection は捨てて観測重視, (3) 観測も捨てて ET の技術としての低温鏡の実現, があるが, サイエンスとしてどれを守ってどれを諦めるべきかの議論が重要」

梶田：「first detection を下ろすと予算獲得が厳しいのでぜひ盛り込んでほしい」

三尾：「ソースとして确实視されている連星中性子星を LXGT ではターゲットに入れられなかったのがよくなかったと思うことがある」

黒田：「9月14日の週に, LCGT の全体を議論する会を持ちたい. 日程はあとで皆さんにアンケートを取って決める. 」

宮川：「作業部会が, 計画が来年度開始という前提で動いているが, そのままでやるのかどうか」

川村：「そのままでやる. 9月末に各作業部会がマネジメントにレポートを提出. 11月末までにインターフェースを確立, 12月末に緊急性の高い部分の設計を完了, 3月最終設計を決定. 」

麻生：「スケジュールにもう少し余裕があると, もっと意味のあるレポートが書けるので, 考慮してほしい」

中谷：「検討が進むと, 全体がひっくり返りそうな結果が出る見込みがある？」

麻生・宮川：「それほど大きな変更は出なささそう. 」

川村：「レポートを Stan 氏に送るのは予定どおり明日出す？」

安東：「世界の主だった reviewer をお願いするので, その結果が出た後に LCGT の方針がひっくり返ってしまうと信用を失ってしまう」

黒田：「レポート提出が遅れていいかどうかは, こちらで検討させてほしい (ただし、特別作業班については予定通りとする) 」

(来年度概算要求に反映させるべきことがなければ遅れてもよい)

* 次回の日時はあとで連絡

その後のアンケートにより、以下の日程を確保

- 1) 9月14日 (月) 午前10時~12時
- 2) 9月18日 (金) 午後1時~2時45分